

## 事業者向け放課後等デイサービス自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6年 3月13日

公表：令和 6年 3月 25日

事業所名 さくら総合発達支援センター ほーぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	活動レベルに合わせて環境設定が必要。機能訓練のスペース確保は今後検討していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		夕方の勤務が可能な職員の配置を検討していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		呼吸器装着など、重症児の過ごす環境の改善をしていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		ICTを活用し情報共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		訪問歯科、土曜日の開所を始めた。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修への参加を積極的に行っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		学校での自立活動の内容も考慮しアセスメント、計画に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		重症心身障害児に適応するアセスメントツールを検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		長期休み中は外出やイベントなどを計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		集団療育の内容を週ごとに検討している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇中は学校での自立活動を参考にしている。平日は短時間で、食事・排泄に重点を置いている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個人活動では機能訓練を中心に、集団活動は定期的に内容を検討している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ICTを活用し情報共有している。1日の予定をホワイトボードに示し可視化している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ICTを活用し情報共有している。送迎の都合でその日のうちに振り返りすることが難しいこともあるため、方法を検討していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動記録を記載し、それを元に計画に反映させている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリング方法を工夫し実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインに沿って計画立案し支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議の介在を増やせるように調整していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		それぞれ書面にて行っている。連絡調整は主に保護者を通して実施しているが、緊急時は学校と直接連絡・相談を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		書面でのやり取りや、電話連絡を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保育所等訪問支援を通して連携している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		今年度の対象者はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所との連携を深めて、児童についての情報共有、助言を受けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		図書館や児童館に行く機会を作っている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		連絡会へ参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		サービス提供記録に加え、送迎時に直接お伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者参観や家族支援プログラムを計画していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に別紙にて説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ラインワークスを活用し、相談しやすい体制をとっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ラインワークスを活用し、営業時間に関わらず連絡をしてもらえる体制を整えている。必要時は代表者へ報告し対処している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		SNSの他に全員が閲覧できるツールを検討していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に関する同意書を使用している。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	保護者によって伝達手段の工夫をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	地域の方が参加できるイベントを企画していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	医療的ケア児の避難方法、電源の確保など不十分な点もあるので、より具体的なマニュアルの作成、職員・保護者への周知を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	定期的に避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	研修の参加、伝達講習をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	計画に反映している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	飲食の場面が混同しないように配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	出勤時にヒヤリハットの確認しサインしている。事例検討会の開催を計画していく。